

平成22年12月1日付け津市監査委員告示第7号公表分

財政援助団体等監査

津市水産振興連絡協議会(所管部局：農林水産部水産振興室)

監査の結果	<p>ハマグリ・ヨシエビの放流事業については、水産資源の確保を図るものであるが、水産振興室は放流の効果の検証について、漁獲量による検証は困難としている。</p> <p>しかしながら、負担金は税金等の貴重な財源で賄われていることから、放流の効果を検証しないまま、負担金を交付することは望ましいことではなく、財団法人三重県水産振興事業団など関係機関に協力を求めるなどして、その効果の客観的な検証方法について検討されたい。</p>
措置の内容	<p>ハマグリの放流効果の検証方法については、水産庁が毎年実施している漁港の港勢調査に係る市内漁港からの漁獲量の報告数値により、放流効果を確認している。ヨシエビの放流効果の検証方法については、港勢調査でヨシエビ単独での漁獲量の把握が困難であることから、平成27年度末をもって放流を終了した。</p>